

平成 22 年度 モニター会議

九州森林管理局では、年に数回、九州各地で「国有林モニターブロック会議」を開催しています。（ブロック会議：九州を数ブロックに分けて地域ごとに開催するモニター会議）

標準的な開催内容としては、各森林管理署職員の案内のもと国有林の現場を見学し、国有林野事業への理解を深めていただき、九州森林管理局の取組などについて意見交換をします。また、アンケートにご協力いただいています。

地元の国有林に触れていただく貴重な機会ともなっています。

● 国有林モニターブロック会議 都城会場

日時：平成 22 年 9 月 30 日（木） 10：00～15：00

場所：宮崎県都城市、えびの市ほか

【概要】

霧島国有林内ではシカ被害地とシカ対策状況について視察していただきました。参加者はシカネットの設置の状況や、シカの忌避植物であるマツカゼソウの繁茂状況、またヒノキ林の皮剥ぎ被害などに熱心に見入っていました。

午後は えびの高原にて、ノカイドウの保護柵設置箇所の視察、及び笠松式くくり罠の説明と実演を行いました。野生鳥獣であるシカが人慣れし、当然のように周辺を行き来している状況を見て、参加者は驚きの声をあげていました。

シカの生態や被害状況について多くの質問が出され、「シカ料理のレシピなど、食材としてのPRをしてはどうか」「民有林ではシカネットを設置してまで造林を行うようなお金はない」などの意見もあり、シカの問題に対する関心の高さが伺えました。



シカ被害の解説

笠松式くくり罠の実演

● 国有林モニターブロック会議 熊本会場

日時：平成23年2月5日（土） 10：00～15：30

場所：熊本県熊本市

テーマ：治山事業のPR手法について

【概要】

熊本森林管理署管内金峰山国有林の利用間伐事業箇所において、林内を歩きながら人工林の手入れに不可欠である作業路や実際の作業箇所を見学していただきました。

また、小萩園では、桜の保護、植樹活動の説明や、木材チップを利用したバリアフリーの歩道について大きな関心が寄せられました。

午後からは小萩園内の森林学習館において、林業・木材利用の現状や木材の長所、公共建築物等木材利用促進法の制定や間伐紙の取組を中心に木材利用に関する説明を行ったのち、意見交換を行いました。「木材の長所を活かし、かつ機能性のある商品を多く提供してはどうか」「環境に良い理由があるなら、少々高くても買うと思う。政府・行政の取組だけではなく、消費者も協力して商品選択する姿勢が必要」「実際国産材を使おうとしても、高かったり手に入らなかったりする。木材搬出側だけでなく、消費者に近い側の企業等に働きかけをすべき」等多くの意見が出されました。



作業路網の様子



森林学習館での意見交換会